

札幌北ロータリークラブ会報



2024-25年度スローガン
「輪を以て貴しとなす」

2025年1月27日(月)18:30 第2354回例会

本日のプログラム

社会奉仕委員会担当 第3回クラブフォーラム
社会福祉法人ゆうゆう 理事長 大原 裕介 様 卓話



クラブ情報担当
大西 勲 会員

前回例会記録 2353回 1月20日(月)12:30

- 【司 会】 黒川篤 会長
【ビジター】 伏木 淳 様 (第2510地区 第4グループ担当ガバナー補佐)
眞田 孝浩 様 (栗東 RC)
【ゲスト】 おりません

1/20 出席報告

会員数	出席	欠席	除外	%
35	18	16	1	53

会長報告

- 伏木ガバナー補佐にお越し頂き、IM のご案内を頂きました。
- 滋賀県栗東 RC より、眞田孝浩様がビジターでお越し頂きました。
- 本日は第2回クラブ協議会です。

委員会報告

◆公共イメージ向上委員会より(谷口委員長)・・・ロータリーの友1月号の読みどころご紹介



伏木AG



眞田様



谷口会員

12/16 メインプログラム



「医療に国境はない」

阿部 弘 会員

卓話の機会をいただきありがとうございます。
黒川会長より「いやというほど自慢話をして下さい」と言われたので、今回は自慢話をさせていただきます。(図1)

北大医学部を卒業してインターンを終えた私は、都留美都雄助教授が率いる北大医学部精神医学教室脳神経外科診療班へ入局しました。都留先生は6年間の米国留学の後に、米国の脳神経外科専門医の資格を日本人で初めて取得して帰国したが、北大での受入れ先がなく、精神神経科の諏訪望教授が精神科の中に「脳神経外科診療班」として都留先生を迎え入れたのであった。私は当初は精神科志望だったが、都留先生の脳の手術を見て、卒業間際に脳神経外科を志望する決心をした。(図2)



(図1)



(図2)

喜び勇んで入局した脳神経外科だったが、トレーニングは厳しかった。3日に1度の当直、次々と運ばれてくる救急患者の処置、昼夜を問わない緊急手術などで、眠る時間と食べる時間を確保するのに苦労した。

脳神経外科で扱う患者は、**脳腫瘍**、**脳血管障害**(くも膜下出血、脳出血、脳梗塞など)、及び**脊髄疾患**(脊髄腫瘍、血管奇形、外傷など)が三大疾患で、その他は先天奇形、頭部外傷等がある。(図3)

その後、釧路労災病院、米国留学などの後、1973年に私は助教授に就任した。1976年に私は自動車事故賠償対策機構の奨学金による4ヶ月の海外留学に出発した。

まずはチューリッヒ大学（スイス）脳神経外科のヤシャギル教授の脳動脈瘤の手術を見学した。世界一の噂どおりの華麗な手術であった。次いで、マウントサイナイ大学（米国）のマリス教授の脳腫瘍の手術を見学した。ともに3週間安宿に滞在して、月曜から金曜まで毎日手術室に居続けた。目からウロコが落ちる思いで、多くを学んだ。さらに、フロリダ大学のロートン教授、オハイオ州立大学のハント教授、カリフォルニア大学サンフランシスコ校のウィルソン教授の手術も見学した。勿論、各大学の朝7時から病棟回診や、カンファランスなども出席した。マウントサイナイ大学の時は、ニューヨークのYMCAに1泊9ドルで3週間滞在したが、部屋にはベッドが1つあるのみで、水道もトイレもなかった。（図4）



(図3) (図4)

4ヶ月の留学から帰国した私は、“世界レベルに追いつこう！世界と勝負しよう”と決心し、教育、研究、臨床に脇目もふらずに熱中した。

1984年、都留教授が定年退職して、私が後任として教授に就任した。そして2000年に私が定年退職する迄の16年間に、29名の若手教室員を海外留学させた。総回診カンファランスを英語で行った。

やがて弟子達が成長して、脳腫瘍及び脳血管障害の手術では世界に負けないレベルに達したので、私は脊髄疾患の手術に専念するようになった。（図5）

脊髄の手術は、都留教授の時代から北大の業績は断然日本一であった。私は世界をリードするレベルにすべく奮闘した。以下、頸椎後縦靭帯骨化症、脊髄髄内腫瘍、頭蓋頸椎移行部病変の3疾患について述べる。

頸椎後縦靭帯骨化症は東洋人、とりわけ日本人に多い疾患（難病）である。脊椎の後縦靭帯が骨化して脊髄を圧迫し、放置すると四肢麻痺をおこす。従来は椎弓を分離させる後方除圧が行われてきたが、根治には至らなかった。頸椎の前方から到達して、椎体及び後縦靭帯を摘出する手術は、日本では数例行われていたが、出血や脊髄損傷が多く、中止されていた。私はこの前方除圧固定術を

顕微鏡下で慎重に行えば、必ず成功すると確信して、助教授時代に開始した。結果は驚くほどの症状の改善が見られた。（図6）



(図5) (図6)

わずか16例の結果の論文を、世界で最も権威あるJournal of Neurosurgeryへ投稿すると、直ちに採用されて、私の描いた論文の図がジャーナルの表紙を飾った。（1981年7月号）（図7）

この報告は、**世界で初めて行われた**顕微鏡下の手術と認定された。その後は、世界各国の脳外科医及び整形外科医から頸椎後縦靭帯骨化症の患者が北大病院の私宛に送られて来た。

米国の脳外科医より送られたグアム島の患者（40才台）は、大きく肥っていて四肢麻痺のためにタクシーに乗れず、急遽、千歳の救急車で北大へ来た。3椎体を摘出する大手術だったが、術後は急速に手足の動きが回復し、10日後に車イスで退院した。1ヶ月後には歩行が可能になったとの連絡があった。（図8）



(図7) (図8)

ニューヨークの整形外科医の紹介で入院した患者（50才台IBM社員）は、歩行困難であったが、自力でタクシーで北大へ到着した。骨化巣は大きく、手術は長時間を要したが、無事終了した。患者は翌日から歩きだし、1週間後に抜糸した翌日にスタスタ歩いて退院した。（図9）

台湾大学の洪教授から依頼された患者（50才台）の手術のために私は助手1人を連れて手術器械を持参して台湾へ向かった。北大医学部事務へ台湾への出張届を提出すると、「貴君は国家公務員なので、台湾の政府の高官と接触してはならない…」という注意書が文部省から送られてきた。患者は台湾の国会議長で大物とのことであった。空港に着くと、私と助手は通常のゲートとは別のゲートで税関のチェックもなしに通過して、黒塗りの警備付きの車で台湾大学へ向かった。車の前と後ろに警備のオートバイがついて高速道路を走った。

台湾大学で、私は患者に手術前の説明をした。患者の周囲には数人の家族と数人の国会議員と洪教授と数人の脳神経外科医がとりまいていた。翌日の手術は朝 9:00 に始まり、夕刻の 7 時頃に終了した。骨化巣は大きく、硬膜と癒着していて摘出の際に硬膜及びくも膜が損傷して髄液が流出したために、それらの修復に手間をとった。しかしながら最後は硬膜及びくも膜の修復も終え、無事終了した。(図 10)



(図9)



(図10)

手術室を出ると、報道陣のフラッシュを浴びた。私と助手は下を向きながら人をかき分けて脱出した。翌日、洪教授から患者の手術が成功したとのニュースがテレビで報道されたと知らされた。新聞にも掲載されていると新聞を見せられた。私は恐ろしくて新聞を見れなかった。これらの報道を文部省が知ったら、私はただではすまないと思った。術後の経過は順調で、患者の四肢麻痺はぐんぐん回復した。1ヶ月後には国会議長職に復帰し、70才後半まで議員を務めたとのことであった。

私と助手は術後 3 日目に帰国の途についたが、私は成田空港に着くのが怖かった。文部省の役人が私を尋問するのではないかと怖れたが、何事もなく入国できて安堵した。

やがて、ニューヨーク大学脳神経外科クーパー教授及びノースカロライナ大学バロー教授から要請されて、米国の脳神経外科医及び学生向けの教科書を作成中で、“頸椎後縦靭帯骨化症”の項を私に執筆してくれと依頼された。3ヶ月かけて何とか原稿を送って出版された。(図 11)

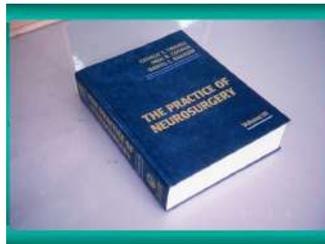
脊髄腫瘍には硬膜腫瘍、硬膜内髄外腫瘍、脊髄内腫瘍の手術である。

髄内腫瘍の診断は MRI 検査の前では非常に困難で、海外でも手術例の報告は少ない。MRI による診断が普及し、顕微鏡下手術によって安全に腫瘍が摘出されるようになって初めて海外では 1970～1982 年に、10 数例～80 例の報告が見られた。

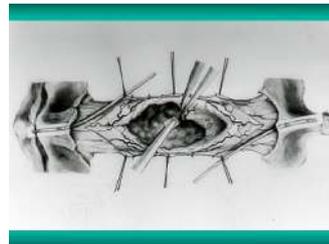
私は 1986 年に 10 例の手術例を日本脳神経外科コンgres総会（札幌）で、会長講演として発表したのが、**日本で最初の報告である。**その後、1999 年に 105 例の報告をした。勿論、**断トツの日本一の手術件数である。**

髄内腫瘍の手術は図 10 の如くである。顕微鏡下にて直径 13～15mm の手指大の太さの脊髄に縦切開を加えて、脊髄組織を損傷しないように慎

重に腫瘍を剥離して摘出する。(図 12)



(図11)



(図12)

韓国のソウル大学脳神経外科チョイ教授より依頼されて、16 才高校生男児の手術を行った。患者は重度の四肢麻痺で歩行不能であった。腫瘍は頸髄から一部は胸髄まで伸展してしていたが、慎重に剥離して全摘出できた。16cm の太い腫瘍であった。(図 13)

患者は、高校卒業後札幌の大学で勉強したいと言って、日本語を猛勉強して札幌大学に入学した。手指の動きがやや不自由ではあったが、下肢はほとんど正常に戻った。私は、大学と親から保証人となることを依頼され、喜んで引き受けた。入学の挨拶に北大を訪れた時の様子が道新に掲載された。(図 14)



(図13)



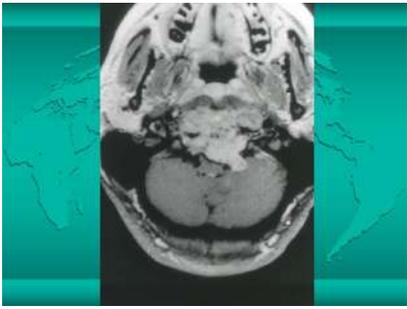
(図14)

私は入学式には出席できなかったが、卒業式には親代りに出席した。私の 105 例の髄内腫瘍手術例のうち、外国人は 4 人であった。

頭蓋頸椎移行部病変は、図 5 に示すように、骨奇形、外傷、リウマチによる脱臼、腫瘍などの病変が延髄脊髄移行部の前方に存在していて、後方からのアプローチでは到達できず、前方すなわち口腔内から到達する方法がある。

この手術は、視野が狭く、深い術野で操作が困難で、感染の危険性も高く、日本での報告は 1990 年まではなかった。私は 1987～1998 年の間に、骨奇形、脱臼、腫瘍など**合計 42 例**の手術を行って発表した。**勿論、日本最初の報告であり、最多の症例数である。**

1992 年、ブラジル サンパウロ大学脳神経外科オリベイラ教授の要請で、私は頭蓋底腫瘍の経口到達法を行うために手術器械をかついでブラジルへ飛んだ。腫瘍は大孔前縁に存在し、骨を破壊して、延髄脊髄移行部を圧迫していた。患者は 26 才男性であった。(図 15)



(図15)

腫瘍は延髄を圧迫し、複数の脳神経や血管と癒着していた。腫瘍の摘出は容易でなく、手術開始後6時間経過した時点でまだ1/2の摘出だった。私はこれ以上の摘出は困難と判断して手術を終えた。持参した手術器械も不十分だった。

1ヶ月後、患者に北大病院へ来てもらった。器械もスタッフも十分であった。術後の患者の回復は順調で、10日後に退院した。(図16,17)



(図16)



(図17)

図18、及び19は、世界で1~2位を競う脳神経外科医達との交流の写真である。会場で、ディナーの席で、札幌で等々で撮影された。私は彼等と親交を深めながら多くを学び、彼等に負けなようにと努力した。今でも海外の一流脳外科医20数人とXmasカードをやりとりしている。



(図18)



(図19)

図20、本田宗一郎の“世界一でなければ日本一にはなれない”という言葉は私を支えてきたバックボーンであった。



(図20)

(卓話も原稿も規定を大きく越えたことをお詫びします。

阿部 弘)

メインプログラム



「稲盛和夫の名言の抜粋」

クラブ情報担当 大西 勲 会員

- ・世の中には偶然はない。すべて必然である
- ・神様は平等だ。努力を続ければいつか必ず花が開く。
- ・万能の神様は平等な筈だから努力している姿を必ず見てくれている。
- ・どんな厳しい状況に置かれようと、あるべき姿、明るい未来を絶対に目指さなくてはならない。そうすると妬みや嫉みがなくなる。
- ・俺の辞書には否定的な言葉はない。
- ・人間は成功しかけるとどうしても狂うので、自分への強い警戒心が必要になる。
- ・謙虚さは魔除け。
- ・悪魔はニコニコ顔でやってくる。哲学がないとそれに乗り、失敗してしまう。
- ・心がよくなると、よい人間になる。よい人間があつまれば、良い会社になれる。よい会社になると業績もよくなる。だから、心をよくできる人間がトップになるべきだ。
- ・「尽くすから尽くされる」「愛するから愛される」(愛する、つくすが先)
- ・人間に良い人間、悪い人間はない。教育すればすべて良い人間になれる。
- ・成功の方程式 人生・仕事の結果=考え方 × 熱意 × 能力
- ・熱意とは「できるからやるんじゃない、可能性があるからやるんじゃない、どうしてもやりたいからやるんだ」ということ

皇族等国賓のCAに選ばれた理由

他の人と比べて美しいわけでもないし出身校がよいわけでもないの上司に理由を聞いた。

上司の返事

「あまりミスがないよね」えっ、それだけ

「いつも笑顔だね」みんな笑顔だと思うけど

「いつもきちんとしているよね」もうこれ以上は聞けない

結論 チャンスを呼ぶ3つの習慣

1. いつも笑顔でいる。
2. いつも身なりを整えておく。
3. いつも相手の期待より上を行く。

ニコニコBOX

☺**草間孝廣会員**：新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。黒川会長年度も折り返しです。下期も頑張つて、楽しく出村ガバナー年度と黒川会長年度を完遂しましょう。本日伏木ガバナー補佐のご来訪に心からニコニコです。

☺**黒川篤会員**：伏木ガバナー補佐、お忙しい中のご来訪、ありがとうございます。年末家族会、ご用意頂いた皆様大変ありがとうございました。楽しませて頂きました。ニコニコです。

☺**林里紅会員**：皆様本年もどうぞ宜しくお願い致します。本日は無事に第2回クラブ協議会を開催できることにホツとしております。上半期は各委員長の皆様にご世話になりました。下半期も宜しくお願い致します。また、本日は伏木ガバナー補佐にお越し頂きニコニコです。

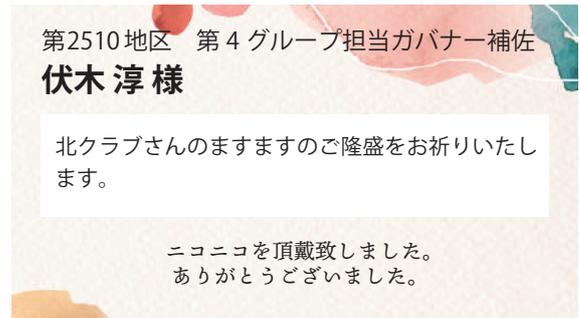
☺**佐々木仕会員**：皆様今年も宜しくお願い致します。年末年始は久々夫婦2人でゆっくり過ごしました。雪も大したこともなく、薪ストーブで心も体も暖まりました。22日から次男夫婦が赤ちゃんと4日間、30日からは長女が11ヶ月の孫と10日間、私はいいけど、家内が大変です。

☺**斉藤昌一会員**：本年もよろしくお願ひ致します。明日から3泊4日、ゴルフ同好会の遠征で宮崎へ行って来ます。とても楽しみでニコニコです。

☺**中村越子会員**：新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞ宜しくお願い致します。来週から2ヶ月間例会に出られないのですが、どうぞそれまでみなさまお元気で過ごしてください。

☺**谷口昭博会員**：皆様、明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。今年もニコニコします。

☺**勝木美奈子会員**：新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。本日ははじめてのクラブ協議会に出席させて頂きます。よろしくお願い致します。



会務報告

①次週例会は夜間例会で、社会奉仕委員会担当クラブフォーラムです。フォーラムですので通常例会より時間が長くなります。皆様のご出席宜しくお願い致します。

第2回クラブ協議会



例会の後、第2回クラブ協議会が行われ、上期活動報告、下期活動予定を担当委員長より発表頂きました。初めて協議会へご参加される伊藤会員、勝木会員からご意見やご質問も頂戴し、実りある協議会でした。皆様のご協力でスムーズに進行し、無事協議会を終えることができましたこと、感謝申し上げます。

北クラブ情報

例会日 毎週月曜日 12:30

例会場 グランドメルキュール札幌大通公園



札幌北RCホームページ
<http://www.sapporo-north.jp/>

- * 2月 3日(月) 7日へ繰下げ【夜間】4クラブ合同例会
- * 2月 10日(月) 休会(建国記念の日の週のため)
- * 2月 17日(月) 月間テーマにちなんで 瀧澤隆之介会員卓話
- * 2月 24日(月) 休会(天皇誕生日の週のため)

2月は
平和構築と
紛争予防
月間

他クラブ予定表

28日(火)

札幌西 移動夜間例会 ※受付あり
はまなす 定例夜間例会「新年会・入会式」
札幌清田 クラブフォーラム
大通公園 未定

30日(木)

札幌東 (株)fundbook 眞田優斗氏 卓話
札幌西北 小児がんデー卓話

2/1日(土)

札幌手稲 クラブアッセンブリー 中間報告

29日(水)

モーニング 夜間例会「新春夜間例会」
札幌 (株)川見CEO 神代晃嗣氏 卓話
真駒内 30日(木)へ繰下げ夜間例会
新札幌 ゲスト卓話

31日(金)

札幌幌南 2/1へ繰下げ夜間例会 ※受付あり
創立60周年記念講演会・式典・祝賀会

3日(月)

札幌南 社会奉仕委員会より支援金贈呈

※予定は変更になる可能性があります。また、ビジターで他クラブへ行かれる際はご連絡が必要な場合があります。※